

たけとよみらい会議委員からのご意見・ご提案 一覧

1. 妊娠・出産・子育て支援に関すること	<p>① 子育て世代に関しては、身近で安全な公園や歩道の整備（ハード面）病児病後児保育や子育てサークルの応援（ソフト面）などを強化して、SNSでアピール。</p> <p>② 働きながら子育てをするのは当たり前前の時代だと認識すべきであり、ハードソフト両面において、子育て環境を整え、積極的にアピールする必要があるのではないか。</p> <p>③ 子育てと仕事の両立支援は、病児保育が必要。できれば雇用先で病児保育ができればより良いと思う。そんな雇用先が武豊町にあれば、人が集まってくると思う</p> <p>④ 基本目標1について、妊娠から出産は不安が多く、特に2人目の出産の際、身近に親のいない人や手伝ってもらう人がいない時は大変だと思う。町には子育てのヘルパー派遣制度があるが、利用基準が厳しく普通の人には使えない。(KPIを見てもわかる) 保健センターと子育て支援センターが協力して、相談を受け付け悩みに寄り添ってはどうか。ヘルパー派遣制度の件数より、相談受付の件数の方が良いと思う。</p> <p>⑤ 基本目標 1. 自由に利用できる若者用の交流施設（文化・芸術・スポーツなど分野別に）、子育て支援の充実、幼児保育・教育の無償化の拡充、病児・病後児への支援の充実を図る</p> <p>⑥ ファミリーサポートセンターも利用しにくいようです。もっと意見を聞いてほしい</p>
2. 若い世代の定住・移住、まちづくりへの参加促進に関すること	<p>① 会議でも質問しましたが、武豊町には日本福祉大学の学生が多く下宿しています。現在の日本福祉大学の学生との事業は少ないと思います。日本福祉大学と協定を結ぶ必要があるかもしれませんが、学生との共同事業をもっと増やすことで、武豊町に魅力を持っていただけの学生も増えると思います。卒業後、武豊町に定住していただけたら若い人が増えると思います。</p> <p>② 出生率はH29年とH30年では、全国・愛知県の平均値以下になっていますが、転入・転出者数の推移では、0～9歳の人数は増えていることから、他市町で出産してから武豊町に転入して来られる方が多いと考えられます。娘からは、武豊町で土地を探している人は多いと聞いています。分譲住宅が販売されると、すぐに売れるのは、武豊町に住みたい方が多いと考えられます。 例えば空き家対策やインフラ整備など、若い家族が住宅購入しやすくなる環境を整えることが重要だと思います。</p> <p>③ 出生率に関しては、出生率に捉われることなく（たまたま出生した時の住民登録が武豊町だったか、そうではなかったからです）町長がおっしゃられる「住んでみたい・住んでよかった・武豊町」プラス、「子育ても・子育てが終わっても住み続けたい・武豊町」を目指して欲しいと思います。（生まれきた子どもを連れて武豊町に引っ越して頂けるまちに）</p> <p>④ 南知多町や美浜町からの転入者は、通勤・通学の不便さが、大きな理由だと思います。武豊町は電車で名古屋市に約40分、半田市には車で約10分で行くことができます。武豊町は温暖で災害が少なく、一戸建て思考の方には夢のマイホームが若い世代でも取得できる地域です。</p> <p>⑤ 若い女性（20歳代）の転出超過傾向ですが、このような表現が現時点で適切か判断しかねます。前にも述べましたが、どのような事情でこの世代の女性が本町から離れなければならないか分析し、教えて下さい。</p> <p>⑥ 20歳から29歳までの女性の転出ですが、婚姻のため配偶者の勤務先や居住先によって町外に転出しなければならない理由も考えられるのではないのでしょうか。</p> <p>⑦ 女性の労働力率が低く、20代女性の転出が多いことから、卒業後の女性が働く場所が少なく、町外の男性とのご縁が多くなり、町内男性との出会いがない状況が考えられる。</p> <p>⑧ 都会への憧れは少なからず、若者には有ると思いますが「武豊町に戻って来る・武豊町に戻ろうと思う」魅力が武豊町に必要。</p> <p>⑨ まちづくりへの興味が若い世代に低いのは武豊町だけですか？</p> <p>⑩ 婚活事業だけでなく、若者イベントの企画運営やボランティアなど、共同作業としての出会いの場を創出。</p>

<p>3. ワーク・ライフ・バランス、働き方改革、女性の活躍推進に関すること</p>	<p>① 「ワークアンドライフバランス」に取り組んでいる企業を町として認定するというのはいちと感ずみます。さらに踏み込むなら、「ワークライフケアバランス」に取り組む企業を認定するのも良いかなと思ひます。後者は前者に比べ、認知度は低いかなと思ひますが、仕事と介護の両立を意味します。これからの社会で介護問題は誰しもが通るかもしれないことだと思ひますので、町としていち早く取り組まると、マスコミなどの目にもとまりやすいかなと思ひます。</p> <p>② 世帯収入が高いので女性の労働率が低いのか？雇用先が少ないので労働率が低いのか？</p> <p>③ シート24の「女性労働力率が高い地域が合計特殊出生率も高い」、というのは非常に興味深い。当町に当てはまるかは不明だが、女性の働き先（働き方）を増やす（支援する）取り組みも必要ではないか？（今後テレワークが浸透するので、公共施設内（ex屋内温水プール内）にテレワークスペースを整備するなど。）</p>
<p>4. 人材確保、雇用の創出・企業誘致に関すること</p>	<p>① 概ね各世代に本町の住み心地は評価されていると思ひます。現在の財政状況で無理して、恒久的な子育て・教育・高齢者福祉を実施する必要は現状ありませんが、町税収入が見込める色々な施策を打ち（企業誘致→雇用創出→区画整理事業など）安定的な財源が確保できるようになってから、さらに皆さまにご満足頂ける施策を実施すれば将来は100%に近い満足度になると思ひます。</p> <p>② 企業誘致と雇用の創出が必要だと思ひます。特に武豊町と美浜町との行政境や中山地域に建設中の新インターチェンジ周辺への企業誘致は必須です。積極的に県企業庁への働きかけを宜しくお願い致します。</p> <p>③ 雇用の創出・産業立地が必要。</p> <p>④ 視点：イノベーションを起こす積極的な産業づくり 【趣旨】 今後第4次産業革命の進展に伴って産業構造の変化が見込まれます。町の強みを活かし、活力をさらに強化することにより、製造業・農業・商業などあらゆる産業においてイノベーションを起こす力強い産業づくりが求められるものと考えます。 【施策例】 ・次世代産業の育成・振興 ・中・小規模企業の持続的発展と生産性の向上 ・産業人材の育成・確保</p> <p>⑤ 人材確保の見通しですが、どのような職種が人材確保に苦慮しているのでしょうか？</p> <p>⑥ 製造業従事者が多いことから、その内20代30代未婚男性の割合はどうか？</p> <p>⑦ 人を引き寄せ選ばれるまちづくりに向けては、働く場所を確保することも必要と考えます。第1期の評価においても、「武豊町の強みを活かした産業の掘り起こし」については「D・C」評価となっています。人材確保とあわせて雇用の確保の視点も検討をお願いしたい。</p> <p>⑧ 就労支援において、ハローワークサテライトの常設で、町内事業所の求人情報とマッチング</p>
<p>5. 地域資源の活用に関すること</p>	<p>① 視点：魅力的な地域づくり 【趣旨】 新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、今後益々ゆとりある生活環境への志向が高まるものと見込まれます。民間及び大学等の持つ貴重なノウハウを大いに取り入れつつ、まちの住みやすさや利便性の向上、それらの効果的な発信を行うことが求められるものと考えます。 【施策例】 ・居住地として選ばれる魅力の創造・発信 ・都市環境、住環境及び自然環境の整備 ・まちの物産・歴史的資源のさらなる磨き上げ</p>
<p>6. コミュニティに関すること</p>	<p>① 武豊町にも地区ごとに三役（区長、副区長、会計）制度はあると思ひます。8割以上の町民から、暮らしやすさを評価されていますが、地区を運営するうえで必要とされる三役の成り手が今後いなくなると思ひます。喫緊の課題と考えます。</p>

<p>7. ICT・デジタル 施策に関すること</p>	<p>① 視点：次世代に向けた創造的なひとづくり 【趣旨】AIやIoTなど、技術革新の急速な進展による社会の大きな変化が見込まれます。また、障がいのある方の社会参加や外国人住民のさらなる増加などを背景に多様な人々を受け入れられる社会が求められるものと考えます。 【施策例】 ・創造性を伸ばす教育、多様性を尊重する教育の推進 ・グローバル人材の育成 ・魅力ある学校づくり</p> <p>② デジタル施策を推進 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日本の企業においてデジタル化の遅れへの対応が喫緊の課題となっている。愛知県企業のデジタル施策への取組状況は「取り組んでいる」企業は75.5%（全国は75.5%）「取り組んでいない」企業は19.3%（全国は19.7%）。取組内容はオンライン会議設備の導入63.1%、テレワークなどリモート設備導入54.4%、ペーパーレス化の推進38.7%が上位となっている。 武豊町として、行政面、資金面で支援できないか、検討できればと思います。</p>
<p>8. 新型コロナウイルス 感染症対応に関する こと</p>	<p>① 視点：危機に強く安全・安心なまちづくり 【趣旨】新型コロナウイルス等の感染症を始め、南海トラフ地震の発生や気候変動による風水害の激甚化リスクが増大しています。いかなる危機に直面しても被害を最小限に食い止め、住民の生命・財産を守るとともに速やかに社会経済活動を再開できるような強靱なまちづくりが求められるものと考えます。 【施策例】 ・新型コロナウイルス感染症の克服、新たな大規模感染症リスク等への対応 ・ハード・ソフト両面からの防災・減災対策</p>
<p>9. 総合戦略の推進 (体制・意見交換の 場)に関すること</p>	<p>① 仕事と子育てとの両立は、企業・事業所で子育てをされている社員・従業員への体制と、行政としてどのような協力ができるか、内容のすり合わせをする必要があると思います。大手企業と中小零細企業とは支援体制も違うでしょうから、大手企業人事担当者・中小零細企業経営者・本町所管との意見交換をして頂き、できることから一歩ずつ進められてはいかがでしょうか。</p> <p>② 役場の20代、また企業の20代の方で、今日のような会議を持ってみて、その方々のご意見を伺ってみてはどうでしょうか？</p> <p>③ 武豊町の暮らしやすさのアンケート結果で8割以上の町民から住み心地を評価されているが、2割の人の気持ちに目を向けることが人口の増加につながると思う。暮らしにくいことを吸い上げ、どうしたら暮らしやすくなるか地域やボランティアも交えて話し合う場が必要だと思う。</p> <p>④ 本町の近い将来を考えた時に、「子ども・若者・女性」に関しての施策が重要であるのに、特化して施策検討する課がなく、事業ごとに担当課が違うため、つながった施策にならないのではないか。</p> <p>⑤ 子育て世代とひとくりにしないで、妊娠から乳児、保育園児、小学生をもつ親などそれぞれほしい支援が違うことや子どもが育っていくと支援してほしい内容も変わってくるので、丁寧に話を聴く場が必要だと思う</p> <p>⑥ 武豊の住民が半田市の子育て支援センターをよく利用している。とても使いやすく私も孫を連れて何度か利用した。子育て世代の意見を聞く場が必要。そのためには託児ボランティアを育成し会議がしやすいようにしてほしい(武豊町には託児ボランティアがない)</p>
<p>10. 防災・防犯に 関すること</p>	<p>① 「安心な街づくり」の視点も重要と考えることから、自然災害や防犯の取り組みは次期目標に含まれるのか確認したい。</p>
<p>11. 多文化共生に関す ること</p>	<p>① 年齢分布グラフなど視覚的な資料に、増加している外国人データも加えるようにして、学校での対応や多言語表記、地域コミュニティへの参画などに繋がる施策を検討する材料にしてはどうか。</p>

1 2. 空き家に関すること	<p>① 武豊町の街並みには、おしゃれなカフェや本やステーションナリーの店が少ないので、ランチや待ち合わせでも、町外へ出ることになる。空き家を借り受けリノベーションして、若い事業者に貸し出すなど。</p> <p>② 基本目標 3. 旧市街地内にある、空き家を利用したミニサロン・ミニ児童クラブを併設して、子どもと高齢者の交流促進を図る。</p>
1 3. コミュニティバスに関すること	<p>① アンケートで、徒歩で移動できる範囲、公共交通機関【バス、タクシー】整備・・・について、身近なところに公共交通機関があり、バス停が近くにあることが必要とアンケート結果に出ている。このことは、きめ細かなバス路線網が必要という意見であると考えられる。現在の 2 路線から 4 路線以上への拡大が求められていると思われます。路線を充実することで、通勤・通学、公園・緑地整備、良好な景観への利用につながるものと考えます。</p> <p>② 基本目標 1 の選ばれるまちになるために、タウンプロモーションがどれほどの効果があるのか疑問です。武豊町に住んでもらうためには、今後雇用先の確保（先ずは工業用地整備）も必要ですが、行政として『住環境の整備』が重要だと思います。コミュニティバスを増車して路線を増やし、運行時間を延長したり、空き家の取り壊しを推進しポケットパーク化するなど、住環境整備に力点を置いてはどうでしょうか。</p>
1 4. 高齢者施策に関すること	<p>① 基本目標 2. 旧市街地に高齢者むけを中心に、地元産の農産物等の食品を中心としたミニショップ作り。</p>
1 5. 都市計画に関すること	<p>① 現在の武豊町は、市街化区域・市街化調整区域の配置がいびつです。旧野菜茶業研究所跡地からカーネーション団地まで伸びる市街化調整区域や武富線沿いに点在する調整区域のあり方（東大高地区と富貴地区の市街化区域の分断）を検討すべきではないかと思えます。</p>
1 6. 総合計画に関すること	<p>①（第 6 次総合計画に）1 から 9 の（まちづくりの）目標が掲げられていますが、各番号で現在取り組んでいる施策と、これから取り組まなくてはならない施策をあげて下さい。</p>
1 7. その他	<p>① 資料が分かりやすく、何ができていて、何ができていないのかがよく理解できた。特にできていないことに関しては、原因は何なのか、政策をやりっぱなしではなく、改善しようとされているのが感じられてよかった。</p> <p>② 武豊町の企業・事業所は、私の感覚では第 2 次産業が多いのではないかと思います。今の若い方は、IT・サービス業に人気があるのではないのでしょうか。</p> <p>③ 女性の結婚年齢と子育て年齢が全国や愛知県の平均より若いということはありませんか？ 【参考】に記載されている表で両立しやすい地域は、農業や家内工業等が盛んな地域で家族で仕事が容易にできる地域ではありませんか？</p>